

V. 研究所図書館

1. 資料収集

2017年度の各種資料の受入数及び累計（蔵書数）は表V-1のとおりである。

研究所図書館は、研究所創立以来、開発途上国の政府刊行物、雑誌・新聞、海外の大学・研究機関の調査報告書、統計資料など現地の一次資料に留意して収集を行ってきた。特に、海外の主要な研究機関、政府機関等と研究所図書館との間で行われている出版物等の資料交換制度は、商業ルートでは入手し難い出版物の収集において重要な役割を果たしている。2017年度末の資料交換先は987機関である（表V-2）。

開発途上国の刊行資料については、各国の書店や政府機関から直接購入しているもの及び海外研究員や海外出張者の協力により現地で直接収集しているものがある。2017年度に後者の方法により資料収集を行った国は、トルコ、タイ、モロッコ、スリランカの4カ国であった。

表V-1 2017年度資料受入数及び蔵書数

資料種別	単位	2016年度末 合計	2017年度受入			2017年度末 合計
			購入	寄贈交換等	計	
洋書 (アジア・アフリカ諸語を含む)	冊	319,800	3,529	7,360	10,889	330,689
和書	冊	100,158	557	2,235	2,792	102,950
中国書	冊	55,338	789	1,081	1,870	57,208
朝鮮・韓国書	冊	26,580	127	385	512	27,092
製本雑誌	冊	81,531	0	184	184	81,715
統計資料	冊	120,919	773	740	1,513	*122,356
合計	冊	704,326	5,775	11,985	17,760	722,010
新聞	タイトル	487	(新規購読) 2	7	7	489
雑誌	タイトル	3,727	(新規購読) 0	0	0	3,727
地図	枚	54,123	7	7	7	54,130
マイクロフィルム	本	88,170	38	38	38	88,208
マイクロフィッシュ	枚	48,596	6	6	6	48,602
ビデオテープ	本	446	0	0	0	446
電子記録媒体	枚	7,109	270	270	270	7,379

*製本した76冊を蔵書数から削減している。

V. 研究所図書館

表 V-2 資料交換の相手機関（2017 年度末）

地 域	国際機関	政府	図書館	研究機関	大学	銀行	企業	各種団体・その他	計	
アジア	16	213	13	80	126	34	1	45	528	
内 訳	東アジア	0	46	6	22	30	6	0	2	112
	東南アジア	9	100	4	11	23	12	0	7	166
	南アジア	0	58	1	27	14	10	1	1	112
	中央アジア	0	5	0	0	0	5	0	0	10
	日本	7	4	2	20	59	1	0	35	128
中東・北アフリカ	2	37	2	9	14	29	0	4	97	
ラテンアメリカ	7	52	0	8	24	35	0	15	141	
アフリカ	4	64	0	3	4	39	0	1	115	
オセアニア	0	10	1	1	8	2	0	1	23	
CIS・東欧	0	5	1	5	2	1	0	0	14	
北米	11	2	1	0	17	1	0	0	32	
西欧	20	0	1	9	6	1	0	0	37	
計	60	383	19	115	201	142	1	66	987	

2. 資料整理・保存

(1) 目録

2017 年度は、合計 5,398 冊（点）の整理を実施した。その内訳は、和洋書 3,514 冊、アジア諸言語資料 1,884 冊（中国語 434 冊、韓国語 651 冊、インドネシア語 224 冊、タイ語 276 冊、アラビア語 123 冊、ビルマ語 158 冊など）、年刊資料等 1,005 冊、CD-ROM・DVD94 枚である。

作成した目録データは、研究所の蔵書目録データベースへ登録すると同時に、国立情報学研究所（NII）のオンライン総合目録データベース（NACSIS-CAT）へも登録した。NACSIS-CAT への新規目録登録数は 3,544 件で、参加 1,432 館中第 11 位（2016 年度：第 17 位）であった。これは、研究所図書館の迅速な整理と、他機関にはない貴重な資料を多数所蔵していることを示すものである。

(2) 雑誌記事索引

2017 年度の雑誌記事索引採録件数は、4,455 件（2016 年度：8,627 件）であった。

表 V-3 2017 年度雑誌記事索引採録数

言語	英語	日本語	中国語	コリア語	スペイン語	ポルトガル語	フランス語	アラビア語	インドネシア語	マレー語	トルコ語	合計
合計	2,250	456	987	119	324	48	167	74	30	0	0	4,455

(3) 資料の保存

新聞の長期保存と利用のため、新聞のマイクロフィルム化を行っている。2017年度は、マイクロフィルム化の対象となっている16紙のうち3紙について業務委託による媒体変換を行い、25リール作成した。

3. 利用者サービス**(1) 閲覧**

2017年度の研究所図書館の閲覧利用状況は、表V-4のとおりである。外部閲覧者数については、前年度とほぼ同じ5,000人（2016年度：5,068人）であったが、蔵書貸出については、昨年度から大幅に減少して7,186冊であった（2016年度：8,274冊）。資料複写枚数についても、昨年度より減少し、54,950枚であった（2016年度：65,905枚）。

上記のとおり、利用実績は、全般的に減少傾向にあるが、電子資料を含む資料利用冊数の総数については、61,082冊（2016年度：25,350冊）と昨年度と比べて大幅に増加した。

また、研究所図書館見学は54件442人（国内346人、国外96人）であった（2016年度：67件673人）。

表 V-4 2017年度閲覧利用状況

区分	2016年度	2017年度
①外部閲覧者数	5,068人	5,000人
（うち土曜日）	555人	478人
②蔵書貸出冊数	8,274冊	7,186冊
（うち内部）	5,491冊	4,711冊
（うち外部）	2,783冊	2,475冊
③資料利用冊数	25,350冊	61,082冊
④資料複写枚数	65,905枚	54,950枚
（うち郵送依頼分）	3,939枚	4,768枚
⑤研究所図書館見学	67件（673人）	54件（442人）

(2) 利用者アンケートの実施

研究所図書館では毎年、外部利用者及び職員の満足度を調査し、利用者サービスの向上に役立っている。

表 V-5 2017年度利用者アンケート結果

V. 研究所図書館

	配布総数	回収数	回収率	総合役立ち度 (上位2位の割合)
外部利用者	343 通	316 通	92.1%	99.0%
職員	122 通	38 通	31.1%	100%

【実施期間】2017年9月1日～11月15日（外部利用者、職員とも）

(3) 研究支援

図書館間相互貸出サービスとして、職員からの依頼により、外部図書館から422冊の資料を借り受け、187件の論文等の複写取り寄せを行った。

また、研究所図書館の各種サービス及びデータベース利用方法に関する情報リテラシー研修会を全職員、研究所新入職員、IDEASの日本人研修生及び外国人研修生、客員研究員を対象としてそれぞれ実施した。

特記事項としては、2017年度に、研究所が、国立情報学研究所が運営する学術認証フェデレーションに加盟したことにより、電子資料へのリモートアクセスの利便性が向上したことが挙げられる。

4. 資料・情報相談

開発途上国の経済、政治、社会などに関する具体的な事情または資料について各方面から寄せられる照会に対しては、所内の研究者の協力を得ながら主に研究情報レファレンス課が回答を行っている。

(1) 照会・相談件数

2017年度の研究所全体の主な照会・相談件数は表V-6のとおりである。

表 V-6 2017 年度主要照会・相談件数

対象地域 対象主題	開発途上国全般	アジア全般	東アジア	東南アジア	南アジア	中央アジア	中東	ラテンアメリカ	アフリカ	オセアニア	東欧・CIS	その他	照会事項合計
経済	5	2	18	29	10	1	4	15	5	0	0	0	89
政治	0	1	2	20	4	0	7	18	5	0	0	0	57
社会	0	3	1	18	3	1	2	7	4	0	0	0	39
貿易・通信・運輸	3	4	6	3	2	0	1	2	1	0	0	0	22
農林・漁業	0	2	6	6	1	0	0	2	0	0	0	0	17
援助	7	1	0	1	3	0	0	0	4	0	0	0	16

V. 研究所図書館

環境	0	3	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	12
労働	1	1	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	9
金融・投資	1	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	9
企業	1	1	1	6	0	0	0	0	1	0	0	0	10
人口	0	0	0	6	0	0	0	1	1	0	0	0	8
法律	1	2	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	7
商業・流通・サービス	0	1	0	3	1	0	1	0	0	0	0	0	6
資源・エネルギー	0	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0	6
工業・技術	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6
教育	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5
地理	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	5
財政	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
一般・その他	12	3	7	22	2	2	1	4	3	0	0	0	56
利用・蔵書案内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	194	194
総計	33	26	50	143	29	4	20	50	24	0	1	194	574

5. 資料展示会・講演会

図書館の利用拡大と途上国理解のための啓蒙活動を目的として、資料展示会と講演会を実施した（表 V-7）。

表 V-7 2017 年度資料展示会及び講演会開催一覧

開催月	内 容	開催場所
2017年3月～5月	企画展示「満洲を動かした人々－満鉄会寄贈資料－」	研究所図書館
2017年7月	講演会「理念の共和国が辿った現実的な道のり－ブックトーク・著者が語る『トルコ現代史』」（一橋大学図書館共催）（参加者 40 名）	一橋大学附属図書館会議室（時計台棟 1 階）
2017年7月～10月	資料展「グローバルな人の移動を読み解く－アジア経済研究所図書館の所蔵資料から－」	研究所図書館
2017年7月	講演会「ミャンマーの辺境の商都ムセ見聞録」（参加者 23 名）	研究所 IDEAS 大教室
2017年10月	平成 29 年度アジア情報研修：台湾情報の調べ方－諸制度と統計を中心に－（国立国会図書館共催）（参加者 19 名）	研究所 C21 会議室
2017年11月	講演会「現実と虚構(フィクション)のあいだ－ブックトーク『現代小説から読み解く中国とインド』」（東京大学駒場図書館共催）（参加者 27 名）	東京大学駒場キャンパス 21 KOMCEE West 303 教室
2017年11月～12月	資料展「本と旅する東南アジア－アジ研図書館資料展」（千葉大学附属図書館連携）	千葉大学附属図書館（本館）N 棟 3 階東ブックツリー
2017年12月	あかりんアワー講演会「となりのアメージング・タイランド－日本との関係からみるタイ王国」（千葉大学	千葉大学附属図書館本館 N 棟 1 階プレゼンテーシ

V. 研究所図書館

	附属図書館共催) (参加者 18 名)	ヨンスペース
2017年12月～2018年3月	ミニ展示「本と旅する東南アジア—アジ研図書館資料展—」	研究所図書館

6. ジェトロ図書館情報システム

ビジネスライブラリー東京の閉館、大阪の規模縮小にともない、2018 年度以降に不要になる機器類について解約し、契約の変更を行った。

7. デジタルアーカイブ

(1) 新規登録件数

ARRIDE (アジア経済研究所学術研究リポジトリ) のアイテム登録数は、表 V-8 のとおりである。

表 V-8 2017 年度 ARRIDE への研究成果の登録数

	前年度末累計	2017 年度	累 計
登録件数	25,984	1,468	27,452

(2) 新アジア経済研究所学術研究リポジトリの稼働

ARRIDE (アジア経済研究所学術研究リポジトリ) と、AIDE (アジア経済研究所出版物アーカイブ)、Asia DB (アジア動向データベース) を統合し、研究成果を一元的に保存・管理・提供するシステムとして、新 ARRIDE (アジア経済研究所学術研究リポジトリ) の運用を 2017 年 4 月末から開始した。

8. 図書館間協力・交流

(1) 図書館間相互貸借・複写

国立情報学研究所 NACSIS-ILL システム、専門図書館協議会参加館間等の貸借を合わせた貸出受付点数は 1,160 冊、複写受付件数は 287 件であった。国立情報学研究所の統計情報によると、研究所図書館の NACSIS-ILL による他機関への図書の出冊数の実績は 1,085 冊で、加盟している 1,460 館中第 6 位で、高いランキングを維持した (2016 年度：1,601 館中第 4 位)。

(2) 図書館共同利用制度

V. 研究所図書館

図書資料の利用促進を目的とした「図書館共同利用制度」は、協定締結機関が相互の構成員への個人貸出及び図書館間の相互貸借のサービス提供を行うものである。同制度を利用した今年度の個人貸出冊数は 664 冊であった。

2017年度は、新たに共同利用制度の覚書を締結すべく、早稲田大学図書館と事前協議を行った。

表 V-9 「図書館共同利用制度」締結機関

№	機 関 名	締結日
1	神田外語大学附属図書館	2012年12月20日
2	一橋大学附属図書館	2014年 1月15日
3	東京外国語大学附属図書館	2014年 1月31日
4	お茶の水女子大学附属図書館	2014年 2月28日
5	神戸大学附属図書館	2014年 5月12日
6	一橋大学経済研究所図書館	2014年 5月23日
7	東京大学経済学図書館	2014年 6月25日
8	京都大学東南アジア研究所図書館	2014年 9月 1日
9	千葉大学附属図書館	2014年10月10日
10	上智大学中央図書館	2014年11月 1日
11	東京大学駒場図書館	2015年 2月20日
12	放送大学附属図書館	2015年 2月24日
13	名古屋大学附属図書館	2016年 4月 1日
14	関西学院大学図書館	2016年 4月 1日

(3) 各種協力・交流事業

2017年度は、国立国会図書館と共催でアジア情報研修を実施(2017年10月26日～27日)した他、専門図書館協議会全国研究集会分科会(2017年6月30日)にて、「OAプラットフォームを乗りこなす～アジア経済研究所の取り組みを通じて」を講演し、研究所の学術研究リポジトリ ARRIDE の再構築の取り組みについて報告、アジア情報関係機関懇談会(2018年3月6日 国立国会図書館主催)にて、「アジア資料・情報の有効活用をめざして～アジア経済研究所図書館の取り組み」を報告し、図書館関係機関との情報共有と交流を深めた。

また、慶應義塾大学から1名の実習生を受け入れ、図書館実務実習を行うとともに、研究所図書館業務に対する理解の促進を図った。

表 V-10 図書館間協力・交流事業一覧

開催月	内 容	主 催
2017年6月30日	平成29年度専門図書館協議会全国研究集会第5分科会 「OAプラットフォームを乗りこなす～アジア経済研	専門図書館協議会

V. 研究所図書館

	研究所の取り組みを通じてー」を講演	
2017年10月26日 - 27日	平成 29 年度アジア情報研修「台湾情報の調べ方ー諸制度と統計を中心にー」を開催	国立国会図書館との共催
2018年3月6日	平成 29 年度アジア情報関係機関懇談会にて「アジア資料・情報の有効活用をめざしてーアジア経済研究所図書館の取り組みー」を講演	国立国会図書館

9. 資料・情報委員会

資料・情報委員会は、以下の2分科会を設けて活動した。

(1) アジ研ワールド・トレンド特集企画分科会

『アジ研ワールド・トレンド』2018年2月号（No.268）に掲載した特集「オープンガバメント・データ整備の動向を追うー開発途上国を中心にー」の企画・立案、執筆者の選定及び執筆を行った。

(2) 非刊行物整理・保存・公開推進分科会

満鉄会や研究者などから寄贈された資料のうち、非刊行物（調査ノート、メモ、書簡、写真など）の初期処理のフロー案を策定した。